

上総あいらいの郷
マスクの下は、
いつも笑顔で

（赤いハートマーク）

副施設長 本吉みゆき
オリエンピックイヤーとなるはずの今年度は、「新型コロナウイルス」一色の一年となってしまいました。



上総あいらいの郷でも、手洗い、うがい、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス等の新型コロナウイルス感染予防対策を実施しながら、できる限りストレスなく日常生活を過ごしていただけるように心がけ

マスクの雰囲気を味わい、例年とは違う形で楽しんでいました。

また、不慣れながらも

オンライン面会を実施した際には、「家族と久しぶりに顔を会わせ喜びを

全身で表現する姿が微笑ましく、一変した生活の中でも様々な工夫から笑顔で過ごしたいと感じる瞬間でした。

ですが、密を避け外出・行事・面会の自粛が

続き寂しさを感じる日々・・・

イベントとして企画される芋煮会、北海道フュア、手作りチャーシューラーメン、バレンタイン（女性ホームからのチョコスイーツ）など美味しもので笑顔を取り戻してきました。

クリスマス会では、スライドショーや職員メッセージ、花火映像など編集されたDVDを鑑賞しながら各ホームでクリス



そんな時こそ、スマートフォンである「マスクの下は、いつも笑顔で」を合言葉に、ソーシャルディスタンスは保ちつつ、心の距離は近づけ寄り添って支援をして

支援・介護の現場では、利用者への安全安心なケアと職員の介護負担軽減に向けて、利用者個々に合わせたベッド・移乗用リフト等の導入を進めております。コロナウイルス感染予防対策のみならず、より良い生活環境の整備に引き続き取り組んでいきたいと思います。

そして、マスクの着用が日常となり利用者・職員共に、会話は聞き取りにくく、表情も汲み取りづらくなりました。

そんな時こそ、スマートフォンである「マスクの下は、いつも笑顔で」を合言葉に、ソーシャルディスタンスは保ちつつ、心の

いやだと感じます。

